

高島公民館だより

2026年 3月号 2026.2.25 (文責: 高木)

高島公民館
(アイリッシュパーク内)
〒520-1121
高島市勝野670
TEL 36-0219
FAX 36-1909
t-kominkan@city.takashima.lg.jp

2026 公民館教室・講座パンフレット作成中!

1月末の寒波襲来で高島市も大雪に見舞われました。除雪等で労力を使われた方が多かったと思います。私が居住するマキノの山間部では、積雪が2mを越え、屋根の雪下ろし等除雪に追われる毎日でした。2月後半になって、晴れの日が続き、みるうちに積雪も減少してきました。春の足音がようやく聞こえてきました。

年度末が近づき、活動の振り返りと次年度への計画等でご多用の方が多いと存じます。高島公民館におきましても本年度の反省を踏まえ、次年度の公民館教室・講座を計画し、只今、パンフレットの作成中です。探訪(高島の歴史と文化)講座やだれでもが取り組めるチェアビクス(椅子を使ったエアロビクス)教室、そして、スマホ教室を計画しています。子ども書道教室(硬筆・毛筆)も継続して実施の予定です。

4月初めより、市内各公民館の窓口等で配架します。どうぞご期待ください。



人権擁護活動ブロック別研修会 に参加して 2月6日(新旭公民館) 「改めて、子どもの人権・権利とは何かを考える」

公益社団法人法人子ども研究センター 共同代表 田中 文子 氏

この日は最初に大津地方法務局人権擁護課から子どもの人権問題に関する事例紹介があったあと、田中文子氏から講演がありました。「子どもの人権・権利って何だろう?」を中心にお話をされました。

私たちは、子どもの人権というと「子どものために」と上から目線で考えがちですが、「子どもと共に」という視点が大切であることを力説されました。ユダヤ系ポーランドの精神科医ヤニス・コルチャック氏は「子どもはだんだんと人間になるのではなく、すでに人間である」と主張されています。

田中氏は、子どもの発達を考えると、ひたすら力を伸ばすことばかりに目が行きがちだが、大事なものは伸びてきた力を使って生きること、「子どもは、保護され、養育されると同時に、一人の権利行使の主体である」「人権・権利は子どもに与えるものではなく、子どもとともに作るもの」と主張されました。

この研修会に参加して、人権教育推進協議会高島支部が実施している人権学習会は、大人と子どもと一緒にワークショップ形式で学ぶものです。田中氏の主張された「子どもと共に」は、この高島地域の人権学習会そのものであるとあらためて感じました。人権学習会を重ねるごとに、地域の大人の方々が、「子どもたちがしっかりと考えている」「意見をはっきりと言ってくれる」「子どもの感性の鋭さに感心した」という感想が多いことから、高島地域の人権学習会のもつ意味は大きいと思います。今後も「子どもと共に学ぶ」という視点を大切にして人権学習会を継続してもらいたいです。



意見を述べる子どもたち
(高島地域人権学習会 2026.1.17)

ぞうれっしゃがやってきた 【戦後80年 平和をつなぐ】 3月8日(日) ガリバーホール

13:30 開場/14:00 開演 チケット料金:前売一般 1,000円 18歳以下 500円(当日 200円増)

この度、ガリバーホールにて、戦後80年平和をつなぐ「ぞうれっしゃがやってきた」上演実行委員会主催の公演が標記のとおり開催されます。第1部は市内中学生による発表と戦時中の体験などをもとにした作文の朗読、高島少年少女合唱団による合唱。第2部は合唱構成劇「はしれ、ぞうれっしゃ!」が上演されます。

実行委員会委員長の海老澤さんは「合唱構成『ぞうれっしゃがやってきた』には、戦争の恐ろしさや大切なものを失う苦しみだけでなく、平和とは生きとし生けるものが、ありのままに尊重されるものであり、子どもたちが希望をもち、それをかなえることができるものであるということが謳われています。私たちは過去にあったことを知り、想像し、思いを未来へつなげて行きたいと思います」と述べておられます。出演される市民の皆さま(子ども・大人)は毎日、毎晩ガリバーホールで練習を重ねておられます。是非、ご覧ください。



合唱構成劇練習の一場面



スポーツ少年団スキー教室 2月14日 (箱館山)

高島スポーツ少年団のメンバーによる単位団を越えたスキー教室を本年度も箱館山スキー場で実施しました。4年生以上14名の子どもたちが参加し、好天のもとでの教室となりました。1月末の大雪で積雪量も十分にあり、良好のコンディションで練習し、滑走を楽しむとともに、スキーを通してスポーツに親しみ、団員の交流を深めて無事終了することができました。スキーはあまり経験がないという子どもたちも、練習とともに上達し、最後



開講式:水谷団長あいさつ

にはリフトに乗車して、上手に滑ることができるようになりました。経験のある子どもたちは、さらに滑りに磨きがかかりました。

今年はイタリアのミラノ、コルチナで冬季オリンピックが開催されました。スキーやスキージャンプ、スノーボード、フィギュアスケート、アイスホッケー、カーリング等テレビの画面に映る日本選手団の活躍に心をときめかせ、拍手を送られた方も多かったことと思います。冬のスポーツのよさをあらためて感じられたことでしょう。



スキー教習の一場面

この高島スポーツ少年団スキー教室は、数時間の経験ではありましたが、子どもたちには、雪の多い高島の地の利を活かしたスポーツを生涯にわたって続けてほしいと願うばかりです。

スキーの講師として水谷団長をはじめスポーツ少年団指導者5名、外部講師1名にお世話になりました。ありがとうございました。

ゲレンデをバックに記念撮影 

高島公民館 3月の予定表

1	日	
2	月	休館日 (図書室休み)
3	火	(図書室休み) 子ども書道(硬筆)教室⑩
4	水	アイリッシュパーク第2回消防訓練 高島青少年育成学区区民議常任委員会
5	木	(図書室休み) 高島スポーツ少年団理事会
6	金	高島地域スポーツ振興会役員会
7	土	
8	日	「ぞうれっしゃがやってきた」(ガリバーホール)
9	月	休館日 (図書室休み)
10	火	(図書室休み) 子ども書道(毛筆)教室⑩
11	水	
12	木	
13	金	
14	土	
15	日	
16	月	休館日 (図書室休み)
17	火	(図書室休み)
18	水	
19	木	
20	金	春分の日
21	土	おはなし会10:30~11:00 (和室)
22	日	高島学区子ども会連合会事業 「子どものための管弦楽教室」(びわ湖ホール)
23	月	休館日 (図書室休み)
24	火	(図書室休み)
25	水	
26	木	
27	金	
28	土	
29	日	
30	月	休館日 (図書室休み)
31	火	(図書室休み)

【高島図書室から】 ☎ 36-2160

厳しい冬もそろそろ終わりにして、暖かな日差しを感じながら読書を楽しみたいものです。

新しく入った本の中から、今月はこの2冊を紹介します。



『長谷川あかりの「あたらしい」きほんの料理』 長谷川あかり／著 オレンジページ

「きほんの料理」なんて聞くと堅苦しく思う人も多いのではないのでしょうか。著者の長谷川さんいわく、「料理って、こうしなければならぬなんてない、とっても楽しくて自由なもの」とのことです！

新しい発想で、作りやすくおいしくなる工夫が素敵な写真付きで紹介されています。メニューも、から揚げ、肉じゃが、ハンバーグなど定番のものから、ピビンバ、麻婆豆腐、アクアパッツア、南蛮漬けなど、和洋を問わず、うれしくなる調理が多数並んでいます。また、一つの料理からアレンジして別の料理に変化させる楽しさも教えてくれます。

料理ビギナーさんはもちろん、ベテランさんにも新しい発見の一冊です。

『本日初日 -歌舞伎楽屋裏ばなし』 泉 ゆたか／著 徳間書店

映画「国宝」で、今や大人気となった歌舞伎。

しかし、この作品は歌舞伎の世界の裏舞台が中心の物語。江戸三座と呼ばれる中村座、森田座のうちの森田座の控え座である河原崎座という座で、今をときめく女形役者・五代目岩井半四郎の付き人として働く少女の希和(きわ)が主人公。

希和は河原崎座から失踪した若手役者・藤助を千穂(しゅう)楽まで連れ戻すように命じられる。しかし、藤助の行方を尋ねる希和に、河原崎座の人間は誰も口を開かない……。

華やかな舞台裏で働く少女の奮闘記シリーズの第一弾。

文庫サイズで、手軽に読めて夢中になること確実です！

貸出中の資料はご予約できます。お気軽におたずねください。